



全国学力・学習状況調査の結果について 4

【児童質問調査】

今年度も、子どもたちの学習や生活の状況について調べる児童質問調査が、タブレット端末を利用して実施されました。



情緒の安定・自己有用感等について

自分の良さに気づき、それを認めることができること（自己肯定感）は全国平均回答率を上回り、この数年上昇傾向にあります。

また、85%を超える児童が将来の夢や目標を持ち、ほとんどの子が「人の役に立つ人間になりたい」と回答しています。一方で、友達関係に少し不安を感じる児童がいますが、多くの児童が「普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある」、「先生によいところを認めてもらっている」と感じていることは、私たち教職員にとってもたいへん

質 問	R7 鹿小 (R6/R5)	全 国 (R6)
自分には、よいところがあると思う	89.9 (84.4 / 88.2)	86.9 (84.1)
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	92.4 (82.2 / 88.2)	92.2 (89.9)
将来の夢や目標を持っている	86.1 (83.4 / 87.1)	83.1 (82.4)
友達関係に満足していますか	88.6 (88.9 / 94.6)	91.7 (91.1)
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある	98.7 (91.1 / 94.6)	91.7 (91.0)
人が困っているときは、進んで助けている	91.1 (93.4 / 89.3)	93.7 (92.7)
人の役に立つ人間になりたいと思う	98.7 (93.3 / 95.7)	96.4 (95.9)
いじめは、どんな理由があってもいけない	100 (96.6 / 98.9)	97.2 (96.7)
困りごとや不安なことは、先生や学校にいる大人に相談できる	70.9 (65.6 / 64.6)	70.6 (67.1)

嬉しいことです。

しかし、「学校に行くのは楽しい（84.8）」、「大人に相談できる（70.9）」という項目では、否定的な回答をした児童が一定数存在します。肯定的な回答多いとはいえ、決して100%ではありません。少なからず、「そうは思えない」と感じている児童がいることは、私たち教職員が真摯に受け止め、今後も丁寧に寄り添っていく必要があると考えています。



のびのびタイム(縦割り班活動)

学校での学習について

学校での学習については、「主体的・対話的で深い学び」がどれだけ進められ、子どもたちの意識がどう定着してきているのかが問われています。

全体の傾向は昨年度と大きく変わりませんが、多くの項目で上向



1年凸凹をこすって模様づくり

きの傾向が見られました。

特に、「自分の考えを発表する機会では自分の考えをうまく伝えられるように工夫している」に対して肯定的な回答をしている児童が、全国平均を大きく上回りました。また、「各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った」「学習内容を見直し、次の学習につなげることができた」「話し合いを通

じて自分の考えが深まった」と回答した児童の割合も高くなり、学びの質の向上がうかがえます。

一方で、「課題解決に向けて自分から考え、自分から取り組んだ」という主体性に関わる項目では、全国平均をやや下回り、昨年度からもやや低下しています。今年度の重点目標の一つ、「主体的、協働的な学びと個別最適な学びの推進」(自己調整力を育む 児童同士の意見交流と考えを深める授業 書いて表現する意欲を高め表現力を育成) のため、引き続き取り組んでまいります。

質 問	R7鹿小 (R6/R5)	R7全国 (R6/R5)
自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	78.5 (77.7/71.0)	68.6 (67.6/63.7)
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	78.5 (85.5/79.5)	80.3 (81.9/78.8)
各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	78.5 (74.4/72.1)	77.8 (79.6/74.4)
自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた	82.3 (80.0/76.4)	83.4 (84.3/82.9)
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていた	86.1 (83.4/78.5)	84.9 (86.3/81.8)
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた	92.4 (80.0/85.0)	79.4 (80.8/77.4)
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができた	86.0 (80.0/87.1)	82.5 (80.8/81.9)
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている	87.4 (76.6/64.5)	83.3 (84.2/77.2)
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	82.2 (72.2/67.7)	80.8 (82.5/75.7)
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる	89.9 (78.9/70.9)	88.0 (88.2/83.6)

大切にしたい学びの姿

ふりかえり



2年生算数。図の四角形が長方形といえるか判断する学習の終盤、学習の「ふりかえり」として、学習で分かったことや気づいたことを、自分の言葉でノートに書いていました。自らの学びを振り返ることを大切にして取り組んでいます。

学び合い

5年生の算数。3つの異分母分数の加減を、学んだことを使ってどう計算するとやりやすいのか。計算して答えを出すだけでなく、よりまちがいの少ないやり方はどれか、どの方法が自分にあっているのか、考えながら問題に取り組みます。その後、席が近くの人と、自分のやりやすいと思った方法を伝えあい、やってみて気づいたことを意見交流しました。



異文化交流



クラスごとにオンラインで現地と繋いで交流をしました。奈良と生駒のことを英語で3択クイズを出題したり、事前に送り合ったプロフィールカードをもとに質問をし合ったりして交流を楽しみました。互いに質問したい人を指名し合う場面もあり、事前に相手のことを少しでも知っていることのよさを感じました。